

トゲソの会活動ニュース3号

6月～8月 通算82号

2021年9月

NPO法人
五泉トゲソの会

今後の活動予定

▲ トゲソの会は結成から24年目となりました。

■ 9月はまだまだ総合学習の支援が続きます。※見学や支援者募集しています



9/7-川東小⑤
9/9-南小みなみの泉
トゲソの生息数調査
9/10-村松小滝谷川
9/16-村松小⑤

■ 10月17日(日) 9時15分～10時15分
五泉市生涯学習フェスティバル
ラポルテ五泉(新しい施設・太田)



◆悪意に負けず、善意を信じて募金箱再設置

新潟日報社の記事(下越版7月10日号)を読まれた方はご存じだと思いますが、どぼしこ清水小屋に設置してあったトゲソの募金箱が盗難にあってしまいました。

当会の管理が行き届かない結果だったと思います。5月末に警察に被害届けを出したものの見つかっておりません。善意をお寄せいただいた方には、お詫び申し上げます。

この募金設置に至る経過は、昨年3月に清水小屋の湧水の出が悪くなり、山口育英奨学会様より助成金をいただき工事をしました。その際に、トゲソや湧水小屋管理のために募金をお願いしたのがキッカケでした。お陰様で、半年ごとに開いたところ、2回で約1万8千円のカンパがありました。募金箱には、たくさんの善意が入っておりました。



▲新潟日報記事



▲上:新しいトゲソの募金箱/親子のカンパ
下:励ましのメッセージとカンパ

五泉トゲソの会 中村理事長 殿 7月1日、
今朝の新潟日報紙を拝見しました。
ましては、トゲソの会に入会しなので葉内書を
送って下さい。微かながら協力いたします。
こんな世の中は、トゲソはとろろ、我らの子孫
の力に託す。
よろしくお願ひ致します。 合掌。

しかし、たった一人の悪意により募金箱は持ち去られてしまいました。負けてはおられません。皆さんの善意を信じて、トゲソの募金箱を9月1日から再設置することにしました。

また新聞記事を見られた新潟市西区の方から励ましの1万円のカンパがありました。トゲソのイベントに参加いただいた親子からは、何と3,000円と1,000円の募金がありました。紙面を借りて、御礼を申し上げます。

新しい募金箱は、鎖を付けたほか管理を強化しております。また、素晴らしい募金箱を再度製作していただきました。「テヅカ アート クラフト」の手塚太一様にも感謝申し上げます。コロナ時代ですが、悪意に負けず、頑張っております。

1、今年も総合学習の支援を行う。22回の支援実施。(6月～8月)



▲ 6/7 愛宕小 トゲソの里見学



◆ トゲソの会では毎年市内小学校6校で4年生に総合学習の支援をしています。

今年は21回の支援を行いました。その他五泉中学校で、「江戸時代の五泉」の郷土学習を支援しました。

まず6月1日愛宕小学校「トゲソと水の学習」を皮切りに8月27日の川東小学校の新江川での「生き物調査」まで支援を行いました。

総合学習では新型コロナウイルス感染の拡大を受け、感染防止をして実施しています。

マスク、手洗い、体温を測り、授業に入っています。2クラスがある学校は、学童が多いので、1クラスごとに実施し2回の授業に分けて行っています。

今年、2回目のトゲソ生息地見学は可能となりバスで6校が訪れてくれました。

また、学習は水の循環とCOD調べ、そして汚れた水の浄化実験などを行っています。9月からは、3校で4回ほどの支援が残っています。



▲新江川生き物調べ(川東小 7/10)

学校名	学習した日	回数
愛宕小学校	6/1・6/7・6/22・6/29 終了	4回
五泉小学校	6/1・6/7・6/21・6/30 終了	4回
川東小学校	6/4・6/16・6/29・8/27	4回
東小学校	6/4・6/23 終了	2回
村松小学校	6/3・6/11・6/24	3回
南小学校	6/2・6/10・6/23・7/13	4回
五泉中学校	6/30 終了	1回
計(7校)	6月1日～8月27日	22回

(※2クラスの学校は1クラスごとに同日に2回支援しました)

2、環境月間 – 日本CMKさん 18,303 円の募金、感謝。(6月18日)

◆ 五泉市村松地区にある日本CMK(株)蒲原工場さんから、今年も環境月間に併せてトゲソの会寄付に取り組んでいただきました。

この活動は、今回で3回目の活動となります。日本CMK(株)さんは、自動車の様々なコントロール基盤を作っている会社です。

村松地区の工業団地に蒲原工場があり、従業員が 500 人程度雇用されている一部上場の大きな企業です。

このたび、昼休みに食堂でアロニア製品の販売とゲストハウス「五ろり」さんの卵販売などを通してトゲソの活動募金に取り組んでいただきました。

6月は環境月間です。(株)サンファーム泉さんは、アロニア製品(アジャム・うめぼし・ジュース)の販売を通して、五泉の振興に取り組んでいます。「五ろり」さんは、近くの別所地区でゲストハウスを営んでおります。今回は、これら2団体から、売り上げから手数料分を寄付としていただいたものです。

1ヶ月間で、18,303 円のカンパをいただきました。ありがとうございました。このようにトゲソを守る活動が、企業のCSR活動として多くの企業で取り組んでくれること願っております。



▲日本CMKさん食堂で募金活動

3、トゲソ生息地の江ざらいと親子生き物調べを実施。(7月4日)

今年も7月4日、トゲソの生息水路の江浚い作業を猿和田地区で行いました。この活動は 2004 年から続けており、17回目となります。

会では、会員の高齢化などで独自の江ざらい作業が困難となりました。そこで中学校や高校、専門学校などの生徒・学生に呼びかけて生息地の清掃をしています。



▲ 上:水路の清掃活動中
下:親子生き物調査



今年も新津高校、日本環境自然専門学校の学生さんなどが支援に来てくださいました。本当に遠い所からご支援ありがとうございました。

当日は、雨がパラつくような天候でしたが、何とか大降りにならず、作業を実施できました。

また同時に親子生き物調べを実施しました。現在はコロナ拡大で大変です。小人数ですが、6組の親子が参加して一時コロナを忘れ生き物調べで楽しんでくれたようです。

捕った生き物は、トゲソを初めとして、ホトケドジョウ・ツチカエル、スナドジョウなどを確認することができました。

この水路は、湧水が僅かに湧き出ており、まだトゲソやオオタニシ、ホトケドジョウなどの希少種が生息しています。

今後も地道な活動ですが、これらトゲソの生息地を保全していかなければなりません。

4、初めての取り組み。「冒険塾」を2回実施する(7月、8月)

今年、初めての事業として「夏休み冒険塾」を開催しました。小学生の、低・中学年を対象に夏休みの泊まりと川遊びをセットにした事業でした。

1回目は7月24日～25日に8人、2回目は8月7日～8日に10人が参加してくれました。泊まりは五泉市別所の「五ろり」さんでした。お昼のソーメン流し、川遊び、夕食のカレーライス作り、温泉でお風呂、朝の散歩、竹細工つくりと、目一杯のプログラムでした。

川遊びは、1回目は「仙見川」、2回目は「早出川・太川橋下」でした。川流れ、カジカ捕り、川の飛び込みなどで楽しみました。参加してくれた子ども達は、新しい「冒険」がきつとできたと思います。



4、早出川「夏休み親子魚探検隊 2021」を実施(8月1日)

毎年、取り組んでいる「早出川「親子魚探検隊」は、8月1日に実施しました。数日前に、五泉地区に豪雨があったことから、水は薄濁りでした。

この親子生き物調べは、マリンピア日本海さんなどの協力のもとで、生物多様性保全ネットワーク新潟さんと共催して実施しています。

魚類は13種。ヤリタナゴ、カジカ、スナヤツメなどの準絶滅危惧などの魚類を確認しました。また、昨年同様、北海道にしかないはずのフクドジョウが捕れました。

昆虫類は10種見付き、高尾にヤンマのヤゴが多数とれました。

他には、この辺では珍しいカジカガエルなども確認できました。多弁出水で上流より流れてきたのでないか、との話でした。参加者は35名でした。



- 特定非営利活動法人 五泉トゲソの会 理事長 中村吉則
自宅 956-0862 新潟市秋葉区新町2丁目8-10-1
電話・FAX 0250-22-0271 メール: togeso@beige.plala.or.jp
- 事務所 住所 959-1643 五泉市土堀295 ※スタッフは月・金午後より在宅予定。
電話・FAX 0250-47-4440 メール togeso@jewel.ocn.ne.jp
- ホームページ <http://www.geocities.jp/gosentogeso/index.htm>
フェイスブック <https://www.facebook.com/togeso>